

## 補助金評価シート

区分	重点 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">重点以外</span>	補助根拠	法令補助 ・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">その他補助</span>	開始時期	平成26年4月1日	終期	平成29年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]		食と花の銘産品事業補助金 食と花の銘産品のPR 事業に対する経費、または、将来の食と花の銘産品候補となる品目のPR事業等に対する経費を補助する。					
款・項・目		農林水産業費・農業費・農業総務費					
所属等		農林水産部 食と花の推進課 電話025-226-1794 (内線31794)					

年 度		26年度(1年目)	27年度(2年目)	28年度(3年目)
予算額等の推移	予算(千円)	2,000	2,000	2,000
	決算(千円)	1,351	987	2,000
補助率		1/2	1/2	1/2
目 標		支援団体数3団体 <目標が数値でない場合の評価方法>		
目標に対する達成度(指標)	達成率100%以上		100.0% 3団体	
	達成率 80%以上			
	達成率 50%以上	66.6% 2団体		66.6% 2団体
	達成率 50%未満			
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください			
補助事業者による情報の公表		各種販促イベント会場、各団体総会等		

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	×
		b. 補助率は1/2以内か	○	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
		c. 補助額が5万円以上になっているか	○	g. 目標は数値化されているか	○
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	○
	×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組> 補助対象品目の生産状況、市場相場、販売先などの状況を考慮して、販売促進の可否、取組内容等を決定する必要があるため、補助事業者と調整を行いながら、必要に応じて目標数値や制度の見直し等について検討する。 <g～hにおける取組>			
	目標未達成の原因分析	<期間(3年)を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか> 補助対象品目の生産状況、市場相場、販売先の状況から、当初の想定より当該補助制度を活用した販売促進に取り組む団体が少なかったため。			
		① 拡充・改善 ( 補助率, 補助額, 補助対象経費, その他 )      ② 継続      ③ 廃止			
		①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること。当該補助制度を活用した生産団体等による積極的な販売促進活動が実施され、県内外に本市の食と花の銘産品をプロモーションすることができたことから、一定の効果があつたと判断できる。一方、生産状況、市場相場、販売先の状況から販売促進に踏み込めない場合もあるほか、食と花の銘産品事業の方針にも付随する制度であるため、今後の活用状況を見ながら補助対象者や対象経費等の見直しについても検討する。			